

労働者健康福祉機構燕労災病院
〒959-1228新潟県燕市佐渡633
TEL:0256(64)5111
FAX:0256(63)9819
ホームページ <http://www.tsrh.jp>
Eメール tsubame@tsrh.jp

(燕労災病院院外広報誌)
発行日 2010年01月号
発行者 宮下 薫

燕ろうさいつうしん

病院の基本方針

- ◎安全で質の高い医療の提供を目ざします。
- ◎勤労者の健康管理を支援します。
- ◎医療に関する教育・研修を支援します。
- ◎健康を守り福祉を大切にします。

目次:

*病院長より: 年頭のご挨拶	1
*安全管理室より: インフルエンザについて	2
*お知らせ1: 内科医師が交代しました	
*お知らせ2: 緩和ケア外来について	3
*お知らせ3: 平成22年度 医学講話の 予定	
*お知らせ4: 医療安全標語が決まりました	
*編集部より	3
*外来診療科別担当医師表	4

【年頭のご挨拶】

燕労災病院院長 宮下 薫

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

当院は昨年6月に開院30周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様をはじめ、関係各位のご支援ご指導の賜物であるとあらためて感謝申し上げます。



さて、当院を含む労働者健康福祉機構は平成16年4月をもって独立行政法人化し、6年になりますが、私どもは次の2つの目標を掲げ病院を運営してまいりました。

1つ目は「政策医療の推進」です。これは、勤労者医療を推進することとしまして、職業に関連した労災疾病等の13分野の一つである「職業性の四肢の挫滅損傷及び外傷性切断に対する治療法および地域医療連携体制の構築に係る研究・開発、普及」を実施することです。平たく申しますと、この地区に多い指の切断などに対する治療と機能の改善に対して精力的に取り組んでいくということです。

2つ目は、「地域医療への貢献」です。これは生活習慣に関係した循環器・消化器・内分泌系の、神経系あるいはがんなどの疾患に対して、専門性の高い医療を地域住民の方に提供していくことであり、昨年県に承認いただきました「地域医療支援病院」として、文字通り地域医療の中核的な役割を担う取り組みでもあります。

昨年来、燕市及び三条市を含む県央地域における基幹病院あるいは救命救急センターをどうするかが話題になっていますが、当院は2つの目標の達成を目指し本年も努力していくつもりであります。

ここ数年、医療費抑制政策の推進・新医師臨床研修制度の実施などの影響により、医療を取り巻く危機的状況・医師等の不足が叫ばれるなか、一病院だけの努力ではいかんともしがたい状況下であり、皆様には時としてご不自由をお掛けしているのではないかと憂慮しております。今後も「安全で質の高い医療」を提供していくためにも、地域の皆様の声が私どもの大きな力となります。皆様方からのご助言・ご協力などよろしくお願いいたします。

新しい年が皆様方にとりまして幸多い年になりますよう、お祈り申し上げます。

【感染管理室より】 インフルエンザについて

朝妻聡美

感染管理認定看護師として専任で活動している朝妻聡美です。医療関連感染から、患者さま、患者さま家族、病院で働く人々など、病院を訪れる人々を守るため、感染防止教育や啓発、病院内で発生する感染症の監視、感染を防止するための相談などを感染管理室のメンバーを中心に行っています。

今回、インフルエンザについてお話します。

インフルエンザって？

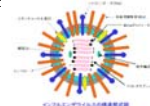
インフルエンザウイルスが鼻やのどで増殖し、それに伴う炎症から症状が始まります。

インフルエンザは突然現れる高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が強いのが特徴です。また、のどの痛み、鼻水、せきなどの症状も見られます。さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発し、重症になることも特徴です。

インフルエンザウイルスの種類

インフルエンザウイルスはA型、B型、C型に大きく分類されます。このうち、大きな流行の原因となるのはA型とB型です。現在流行っている新型はA型になります。

A型インフルエンザウイルスは144種類もの型に分けられます。



どうやって感染するの？

おもな経路は**飛沫感染**と**接触感染**です。

飛沫感染とは咳やくしゃみ、会話などの際に口や鼻から出たバイ菌を含むしぶきを吸いこむことにより起こる感染です。

接触感染とはバイ菌で汚染された手や物品などを介した感染です。鼻をかんだ後や、咳やくしゃみの時にしぶきが飛び散るのを防ぐために口元にやった手には多くのウイルスが付着しています。その手でドアノブや電話、エレベーターのボタンなどをさわると、別の人がその後にはさわるとその人の手にウイルスが付着し、その手を鼻や口にもっていくとその人に感染が及びます。インフルエンザの流行時期には、電車の吊革や公衆電話の受話器、ドアノブなどから多くのウイルスがよく検出されます。ドアノブ、テーブルの表面で2時間あるいはそれ以上の時間、ウイルスは感染性をもっています。

予防の基本は？

? 手洗い、手指消毒

顔に手を持って行く前や帰宅時、手洗いをしましょう

? 咳エチケット

- ✳️ せきやくしゃみがでたら、他の人に移さないためにマスクを着用しましょう
- ✳️ マスクがない場合はティッシュで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1 m 以上離れましょう
- ✳️ ティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、すぐに手洗いをしましょう
- ✳️ 咳をしている人にマスクのお願いをしましょう



【お知らせ1】内科医師が交代しました

1月1日付けで内科医師（腎透析）が1名交代となりました。武田健医師に代わりまして、今回当院に新たに赴任されたのは、矢田雄介医師です。

今後もひきつづき各臨床科の医師確保につとめ、診療内容の充実をはかってまいりますので、よろしく願いいたします。

【お知らせ2】緩和ケア外来開設について

平成22年1月より、当院でも緩和ケア外来が開設されました。緩和ケアとは、がんで苦しむ患者様とご家族の体と心の苦痛の軽減をはかることを目的とした医療で、当院では医師、看護師、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの、種々の職種の職員から構成される緩和ケアチームが、それぞれの専門的知識に基づいて協力して診療にあたっています。

外来は予約制で、診療日は毎週（水）、（金）の午後1時30分から3時までとなっています。他院での診療を受けられている方で、当院の緩和ケア外来受診を希望される場合は、なるべく主治医の先生からの紹介状をご持参ください。また、現在当院に通院あるいは入院中の方で、緩和ケア外来受診を希望される場合は、主治医または看護師にご相談ください。

【お知らせ3】平成22年度 医学講話の予定

3月 2日（火）	メタボリック症候群と脳梗塞について	神経内科 荒川医師
5月11日（火）	胃潰瘍について	消化器内科部長 内田医師
7月 6日（火）	メタボリック症候群と眼の疾患について	眼科副部長 竹内医師
9月 7日（火）	膝痛について	整形外科部長 幸田医師

※開催に関する詳しい情報は当院ホームページ、院内掲示等でお知らせいたします。

【お知らせ4】医療安全標語が決まりました

当院では平成21年度医療安全推進週間に、患者様と職員による医療安全標語の投票を行い、入選作品を次の4作品に決定いたしました。入選した4篇は、平成22年の燕労災病院医療安全標語として使用いたします。

投票いただいた皆さまのご協力に、感謝申し上げます。

- ・目配り、気配り、思いやり 三つの心（ハート）で安全医療
- ・忙しいと思ったら ひとつ“深呼吸”
- ・安全は確認作業のくり返し ムダと思うな 再確認
- ・ミスなくす 知恵と気づきと 思いやり

【編集部より】あけましておめでとうございます。お正月になると、またお餅の季節がきたなあ…なんて思います。私はお雑煮が大好きです。我が家のお雑煮は、大根・人参・牛蒡などの野菜と豚肉・鮭が入った醤油味です。地域や家庭によって、具材や味付けはさまざまようです。皆さんのおうちにはどんなお雑煮ですか？

（記：西脇）

